

低コストファンドシリーズの新ファンド設定 - 「たわらノーロード 全世界株式」 -

アセットマネジメントOne株式会社(東京都千代田区、取締役社長 菅野暁、以下「AM-One」)は、新ファンド「たわらノーロード 全世界株式」を2019年7月22日に設定、運用を開始します。

当ファンドは、「たわらノーロード」で初めて日本と新興国を含む世界の株式をカバーしており、保有することで世界の株式に投資するのと同じ効果を得ることができます。運用にあたっては、MSCI オールカントリー・ワールド・インデックス(円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)に連動する投資成果を図ることを目的としています。

「たわらノーロード」は、2015年に長期の資産形成に資する商品提供の一環でスタートした、申込手数料なしで購入できる低コストファンドのシリーズです。この度設定する「たわらノーロード 全世界株式」は運用管理費用を同種ファンドの中で最低水準となる年率0.1296%(税抜0.12%)に抑えています。¹

AM-Oneは、精緻なインデックス運用を得意とし、投資顧問および投信ビジネスを通じて国内外の機関投資家などに提供しており、その運用商品やサービスは第三者機関からも毎年高く評価されています。² そのAM-Oneが個人投資家向けに設定・運用しているのが「たわらノーロード」です。国内有数の運用規模を活かし、効率的に運用を行うことで、質の高いインデックスファンドを低コストで提供することが可能となっています。なお、当ファンドシリーズの「たわら」という名前は五穀豊穡に感謝し、富をコツコツ蓄えるイメージに由来しています。個人投資家には長期の資産形成のために1本でも複数本でも活用して、年月をかけて富を積み上げてほしいという思いがこめられています。

AM-Oneはこれからも、機関投資家向けビジネスの規模やノウハウを活かし、個人投資家の資産形成に資する運用サービスの提供に努めてまいります。

以上

1 2019年7月5日時点、同種ファンドとは全世界の株式に投資するインデックスファンド。当社調べ。

2 当該評価は、過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。



たわらノーロード 全世界株式 追加型投信/内外/株式

【ファンドの費用】 購入時手数料：なし ■換金手数料・信託財産留保額：なし ■運用管理費用：ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1296%*（税抜0.12%）以内 有価証券届出書提出日（2019年7月5日）現在は、年率0.1296%（税抜0.12%） その他費用・手数料：売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用等 *消費税率が10%になった場合は、年率0.132%となります。

【ファンドの投資リスク】くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。基準価額の変動要因は、次に限定されるものではありません。株価変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク 当ファンドは実質的に、株式などの値動きのある有価証券等に投資します。このため、ファンドは株式市場の変動、為替相場の変動、組入る有価証券等の発行者にかかる信用状況の変化、市場に十分な需要や供給がないため取引を行えないまたは取引が不可能となること、投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等の影響により、組入れた有価証券等の価値が下落し、基準価額が下落することがあります。これらの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。お申込に際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。当ファンドは、株式等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資をしますので、市場環境、組入る有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。当資料における内容は作成時点（2019年7月5日）のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託は、1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約52兆円と国内有数の規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。HP：<http://www.am-one.co.jp/>

運用資産残高は2019年3月末時点。

商号等 / アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会